

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	平成30年度第3回戸田市外部評価委員会 (施策69 地域産業の支援)
開催日時	平成30年10月5日(水) 9時30分 ~ 10時30分
開催場所	本庁舎階 505会議室
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 興松 敬史 委員 市ヶ谷 和親 委員 谷口 光弘 委員 西内 恵美子 委員 石田 美枝
欠席者氏名	無し
説明のため 出席した者	環境経済部 次長 佐藤 健治 経済政策課 課長 内山 敏哉 副主幹 寺島 永
事務局	総務部 秋元次長 経営企画課 山本主幹 須藤主事 財政課 桑原主任
議 題	1 開会 2 外部評価委員紹介 3 対象部局紹介 4 外部評価ヒアリング 5 閉会
会議の経過 及 び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	・平成30年度施策評価シート ・平成30年度事務事業評価シート

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 開 会</p> <p>2 外部評価委員紹介 各委員の紹介を行った。</p> <p>3 対象部局紹介 評価対象部局の紹介を行った。</p> <p>4 外部評価ヒアリング（施策69 地域産業の支援） ○施策の概要 担当部局から概要説明を行った。</p> <p>○事務事業の妥当性 商工会の会員と非会員への支援の違いについてお聞きしたい。</p> <p>委員</p> <p>担当者 市内事業所数は5000社程あるとされ、そのうち2500社程が商工会員である。 商工会からの支援として、会員へは商工会報及びメールマガジンにて情報支援がある。非会員へはなかなか情報が伝わりにくい状況である。 市としても、非会員への情報支援については、困難であるので、四苦八苦している。</p> <p>委員</p> <p>商工会員になる方が、メリットがあるのか。</p> <p>担当者</p> <p>そうであると認識している。</p> <p>委員</p> <p>商い塾事業の対象者は誰になるのか。</p> <p>担当者</p> <p>商工会員・非会員問わず、すべての事業者が対象である。 また、商い塾の内容は、ビジネスに係る内容がメインとなっている。なお、</p>

	<p>非会員が参加することの意義としては、商工会員になるきっかけとなることが考えられる。</p>
委員	<p>商い塾に参加したことにより、実際に起業された方はいるのか。</p>
担当者	<p>商い塾については、既に事業をされている方向けのセミナーとなっている。ただし、本施策以外で、起業者に向けたセミナーも実施しているところである。</p>
委員長	<p>商い塾の参加者は延べ人数と記載されているが、事業者が重複して計算されていることもあるのか。</p>
担当者	<p>そのように計算している。</p>
委員長	<p>商い塾を受けたことによる、売上や集客の変化に係るデータはあるのか。</p>
担当者	<p>そのようなデータはない。</p>
委員	<p>戸田ブランド事業について、優良推奨品等認定制度における認定対象とは何か。また、パン選手権を実施していると思うが、主催はどこになり、この事業には含まれているのか。</p>
担当者	<p>戸田市商工会が所管する戸田ブランド委員会において認定しており、認定対象としては、市内の事業者が新たに作った商品などを想定している。</p> <p>パン選手権については、当該事業に含まれている。主催者は、商工会となる。</p>
委員	<p>市が独自で商品化するものはあるのか。</p>
担当者	<p>基本的には市独自で商品化する予定はないが、戸田市商工会が所管している「とだハニー」の事業展開について、戸田市中心企業振興会議において検討しているところである。</p> <p>市としては、市が主導して商品化するより、想いのある市内事業者が行っ</p>

	<p>た方が良いと考え、また、そういった市民の方の機運があるところで事業を行ってもらいたいと考えている。</p>
委員	<p>総合振興計画によると、当該施策の現状においては、「市内の工業地域等では、マンション建設が進むなど、工場等の安定した操業が困難となる状況が生じているため、企業が環境に配慮した設備を導入する場合に補助を行う」とあるが、これに対応する事務事業はどれになるのか。</p>
委員長	<p>施策名に「地域産業」とあることから、商業だけでなく工業への支援も、当該施策に含まれることでよいか。</p>
担当者	<p>現状としては、本施策に工業への支援に係る事務事業は含まれていない。施策66に工業振興事業が入っているため、当該施策に入れられていない状況である。</p>
委員	<p>ネット通販事業者など、新しい業種が売上を伸ばしていると思うが、市内産業全体の売上などについて、担当ではどの程度把握しているのか。また、売上を伸ばしているような新業種の企業や黒字企業についての把握は行っているのか。</p>
担当者	<p>事前質問の回答別紙1で提示したように、外部データにおいて把握しており、市が独自に調査を行っていない状況である。</p>
委員	<p>産業が振興されたことを判断するには、何を見ればわかるのか。</p>
担当者	<p>売上が判断材料であると考え。売上データにおいては、外部のデータになってしまう。したがって、市の状況を把握するために、市が独自に調査することについて、現在、予算化を進めている。</p>
委員長	<p>総合振興計画については、当該施策の課題に「市内や市外から、商業者を呼び込む仕組みが求められています」とある。本施策のどの事務事業に当てはまるのか。</p>

担当者	商工調整事業に当てはまる。この、事務事業評価シート中の事業内容に記載されている「補助金事務」において、店舗改修の補助金を行っている。
委員長	当該補助金を受けて、市外の事業者を市内に呼び込んだ件数はどれくらいあるのか。
担当者	昨年度は、補助金交付の実績が11件あるが、市外から事業者を呼び込んだ実績はない。
委員長	他に、企業誘致を促すような補助金はあるか。
担当者	産業立地推進事業補助金があるが、内容としては工業振興事業である。商業振興事業における補助金は他にはない。
委員	事前質問において、戸田市中小企業振興会議における「CSR」の必要性の有無について、議論すると回答があったが、この点については、企業の社会的責任は当然必要だと思うので、今更、必要性について議論する余地はないのではないか。
担当者	CSRは必要であると考えているが、当該会議における議論は、CSRが認定制度として必要か、という観点の議論である。 認定制度については、近隣市町村に対して調査を行い、導入に向けて検討していたが、事業者からは、時代遅れでないか、との意見もあり、現在検討中である。
委員	○施策の進捗状況について 当該施策の進捗状況は、企業数が増えることや売上によって等、様々な判断材料があるが、何を見て判断しているのか。
担当者	売上等を見て判断している。
委員	当該施策の指標に、研修の参加者数などを設定しているので、売上を見ているようには見えず、矛盾を感じる。

担当者	<p>おっしゃるとおり、売上等、事業者の細かなデータが無い。指標に入れられる状態でない。</p> <p>今後については、適切な指標の設定を行いたい。</p>
委員	<p>そうすると、施策の進捗について、整合性がないので、評価不能と思うが、いろいろな角度のデータが必要である。施策の指標を選んだ理由は何か。</p>
担当者	<p>「優良推奨品の認定数」を設定した理由については、認定されると、お店にお客が集まり、売上が伸びることで、地域産業の支援となると考え、設定した。</p>
委員	<p>売上を用いて施策等の評価をしていくとのことであるが、売上をデータとして取得することは可能なのか。</p>
担当者	<p>企業調査において売上の把握を行っていく予定であるが、回答は義務ではないので、全てを把握することは困難と考える。</p>
委員長	<p>予算との兼ね合いもあるが、全数調査を行うか、無作為抽出などで把握するか、今後検討が必要である。</p>
担当者	<p>現段階では、全数調査を行っていききたい。</p>
委員	<p>戸田市商工会員のデータは、市で持っているのか。</p>
担当者	<p>個人情報の観点などから、市で持っているものはない。</p>
委員	<p>商工会に加入しない理由についての調査は行っているか。</p>
担当者	<p>調査していない。来年度予定している全数調査にて行いたいと考えている。</p>
委員	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略でも行っている取組みの効果や、事前質問回答に記載の市内事業所売上総額が年々上がっていることが示している</p>

	通り、市内の経済状況は良くなっている状況なのか。
担当者	市内企業の売り上げや法人数は伸びていることから、市内経済状況は良い方向であると判断できる。
委員	まち・ひと・しごと創生総合戦略での効果については、こういった数値目標を設定しているのか。
担当者	安定した雇用を創出することを目的に、市内従業者数、市における支援を受けた起業及び創業者数及び市内商業年間商品販売額等を設定している。
委員長	○資源の方向性 施策評価シートの説明欄に、「職員の専門性の向上」とあるが、これは何か。
担当者	所属年数の少ない職員に対しては、研修等を受けてもらい、業務に係る経済分野の専門性を高めてもらうことを目指し、記載している。
委員	施策に対し、やり切れていないところがあるが、評価として、維持としていて支障はないのか。
担当者	足りない部分はあるが、あくまで人員と予算については維持であると考えている。
委員長	人員と予算を維持することについては、所属内で人員や事業の配置変更等を行うが結果として数値は変わらない維持なのか、全く内容を変えない方向の維持なのか。また、維持であれば、企業調査事業が増える分、他の事業を削らなくてはならないが、そのことについて検討しているのか。
担当者	他施策にある工業振興事業を削り、企業調査事業を行う予定である。
委員	○その他 時代の変化により業績が伸びる業種は変化すると考える。戸田市においては、倉庫業や物流業が多いと感じる。

	<p>今後はどのような業種を重点的に支援していく考えか。</p>
担当者	<p>市では物流業に対して、現在は補助金等における支援は行っていない。      今後は、企業全数調査にて支援策を含めたニーズ調査を行いたい。</p>
委員長	<p>施策名にある「地域産業の支援」の産業とは、商業だけでなく工業等も含むと考えるが、当該施策における主たる対象は商業やサービス業であると感じる。</p>
担当者	<p>今までは、当該施策において、商業やサービス業を対象としてきた。      また、当該施策においては、まちづくりにも関わる施策であると考え。      まちの様子が変われば、企業の立地数にも影響してくると思う。      そこで、企業全数調査にて現状を把握し、事業について検討したい。</p>
委員	<p>事業者の高齢化が問題であることについて、課題解決のため、市からの支援はあるのか。</p>
担当者	<p>特に商店会については高齢化が顕著であり、商店会活動ができない団体もある。商業の活性化がまちの活性化にもつながると考え、商店会に対する補助金を用意している。</p>
委員	<p>施策の目的にある「魅力」の定義は何か。</p>
担当者	<p>政策秘書室でも進めている「住民がつくるおしゃれなまち研究会」で検討しているように、「おしゃれな店舗」が魅力ではないかと考えている。</p>
委員	<p>魅力の定義が定まっていないと評価しにくいので、定めてほしい。</p>
	<p>5 閉 会</p>